

した近代橋である。

東北地方

宮城縣下宮大橋の渡橋式 舉行

宮城縣刈田郡宮村地内松川に架する國道宮大橋は内務省直營で昭和十一年六月着工爾來工事は進捗し此頃完工したので地元にて六月二十一日盛大なる渡橋式を舉行した、工事は總額九萬六千圓で縣下には珍らしいゲルバー式橋長さ一八七米幅七・五〇米の鐵筋コンクリート橋である、尙袖柱四箇は大石、欄干は高欄の磨き出しを施し而かも藏王山麓の白石河口松川に調和

地方通信

關東地方

栃木縣の日鹽道路の完成 迫る

栃木縣北湯の街と角光都とをつなぐ日鹽道路は工費三十萬圓を費し三ヶ年の歳月を経て近く竣工するの運びとなつた、其の延長六里幅二間餘が高原山の麗をめぐり風景佳絶自動車道として好適な道路である。

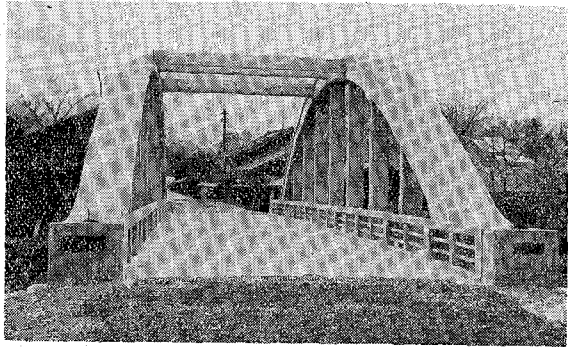
横濱市水源地方に自動車 道路の開設

相甲國境の山村山梨縣南都留郡道志村は横濱市水道の水源地として横濱市民の生命線の源泉であるが交通が非常に不便なところから村民が、辛うじて馬の運搬で谷村町から物資の供給をしてゐる程度だ、一年一度の横濱市議連の水源地出張所の視察も村の娘子軍の馬に乗せられて苦難の旅であつた、この交通に恵まれない道志村、六月二十六日から富士岳麓山中湖畔から同村に通ずる自動車道路が開通することとなつたので面目を一新した。

北陸地方

富山縣下城端橋の完工

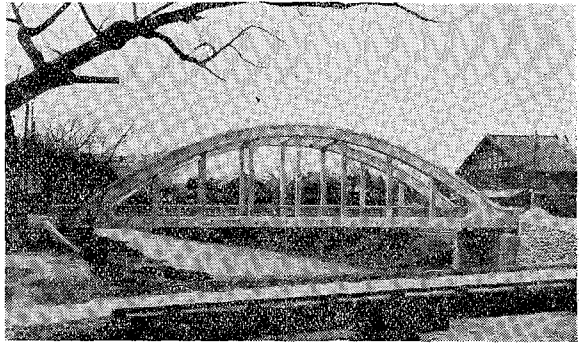
富山縣では同縣東礪波郡城端町南山田村梅ヶ井新立合府縣道福富城端線架設の城端橋の改良工事を施行することとなり昨年八月一日着工し本年四月末日其の竣工を告げた、工事は縣直營で工費總額一四、〇八〇、〇〇圓(一平方米當八六・七七圓)を費した橋種は鐵筋混凝土繫拱橋徑間二八・〇〇米有効幅員五・五米橋長は二九・五〇米橋面有



城端橋正面

効面積は一六二・二五平方米橋面構造は厚三糎混泥土上、厚二糎硬鋼砂入モルタル仕上で高欄は型鋼である。

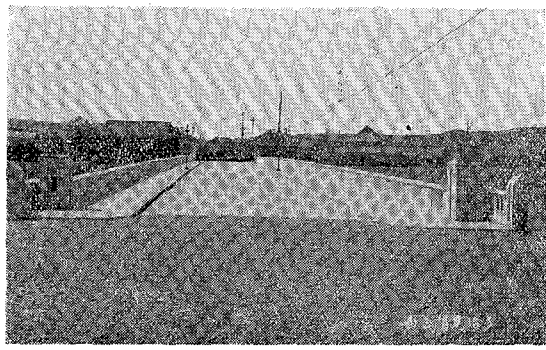
東山地方



城端橋側面

岐阜縣多治見橋竣工

清流土岐川を挟む陶都多治見の本町及長瀬本町兩中心を結ぶ多治見橋は岐阜縣直營にて昨十一年十二月起工以來銳意施工中の處工費六萬貳千四百五拾圓を以つて今年四月竣工を見た。



七米の車道を挟み兩側に各二米の歩道を配し延長百十五米に及びオシツク様式の高欄と親柱、途中二ヶ所に立てられたブロンズ色の燈柱は一段と光彩を添えノールな近代装に更正したので五月十一日盛大なる

渡橋式を舉行した地元町は之と同時に觀光祭を催し煙火、角力、餅投げ移動演藝等の餘興あり全町を舉げて祝賀氣分に浸つた。

多治見橋工事概要

位 置 府縣道中津名古屋線土岐郡多治見町土岐川筋

工事執行者 岐 阜 縣

工事執行方法 直 營

橋 體 橋型鐵筋混凝土桁橋徑間一二・八三米九連

有効幅員車道七・〇〇米

步道兩側二・〇〇米宛

橋長一一五・五〇米

橋臺扶壁式鐵筋混凝土造

下部 工 橋脚框門式鐵筋混凝土造

二 基

八 基

井筒基礎長六・五九米

一六基

橋面及高欄工 橋面車道セメント混凝土

鋪裝厚五種八〇・八・五〇

料 歩道セメント膠泥鋪裝厚

地方通信

三種四六二・〇〇秤
實欄白セメント洗出化粧
仕上

取 付 道 路 延長一五五・三二米

事 業 費 六萬貳千四百五拾圓

起工及竣功 起工昭和十年十二月三十日

竣功昭和十二年四月三十日

使用人員及日數 延日數 四百八十七日

延人員 壹萬六千四百四拾人

使用主要材料 鐵 筋 百貳拾四趣

鐵 材 拾參・九貳趣

セメント 壹萬七袋

東 海 地 方

愛知縣下國道の擴張施工

愛知縣下豐橋濱松兩市間國道擴張に關しては關係市町村で期成同盟會を組織し運動に努むる所があつたが愈々本年度から五年計畫で着手することとなつた。東海道五

十三次の昔を偲ぶ老松の並木は車歩道の境界に街路樹として保存する計畫である。

名古屋市失業事業としての道路鋪裝

名古屋市中は東京大阪兩市に比し鋪裝道路が少なく保健交通の見地からも鋪裝を促進しなければならぬので四千萬圓を以て十三路線に對し鋪裝を施工することとなつた。其の路線は中川運河西線、東海橋—中川口（一八四〇メートル）△御器所呼續線熱田中學西南—大喜本通（七〇〇メートル）△曙町線、郡道—鹽付（一〇五〇メートル）△都計路線、高辻—天津町通（一二六〇メートル）△秋竹熱田線、新尾頭—名古屋紡績西通（八七〇メートル）△箕瀨川線、北押切女子師範—則武バス通（一二九〇メートル）△藪下町線、小舟町—箕瀨川通（九七四メートル）△赤荻町線、覺土山線—石上堂筋（五四一メートル）△瀬戸千種線、西浦—菊里町通り（四〇〇メートル）△元古井町線、城東病院前—千種本通り（八二八メートル）△須賀町支線、中瀬通り—須賀町（二〇〇メートル）△江川端町線淨心

敷下通り(一一四五メートル)△牧野町
地内から市民病院分院のバス路線(二一〇
メートル)

名古屋笹島廣場のクル クルまはれの交通整理

名古屋市内で東北線の十三間半幅の廣小路—南北線から二十四間幅の近代道路と水主町への舊道路とが接合する珍型態の交叉點、しかも電車軌道は三叉型である、リヤカー、自轉車、トラツク、馬車、自動車の混亂を極むる地點ある、本格的のロータリーシステムを設けることは許されない、去りとして此儘に棄置くことも許されない、警察當局も暫らく思案なげ首であつたが此程笹島署の交通關係當事者が案出した簡易ロータリーシステムが實施されることとなつた、しかし毎早朝交通巡查が石灰で白線を畫いて自動車自轉車荷馬車などを行儀よくクルクルまはれ左へ左へと流すのはよくかした頭よきの表現ではあるが其の苦勞は察するに餘りある次第である。

近畿地方

大阪府大阪市の新淀川新 橋の工事

七百米近き近代橋の新淀川橋は北岸は東淀川區北川口町、南岸は北區豊崎西通である、大阪市第二次都市計畫北野、豊津線に附屬し東海道線上淀川鐵橋の下流に架る日本一の豪華橋で、橋の長さは六百九十メートル(總幅員三十八メートル(うち有效幅員三十メートル))で、南岸に近い低水敷部分二百三十メートルの間は大阪ではじめての三徑間自碇式吊橋となり、その他はゲルバー式鋼鉄桁で接續されてゐる、この様式の吊橋はわが國では東京隅田川に架る清洲橋に例があるが、この橋の真中には大阪府高速鐵道線が走る關係から清洲橋より幅がうんと廣く實に堂々たる構へとなる、橋面は中央九メートルが高速鐵道、その兩側八・一メートルづつが車道、さらにその兩側二・四メートルづつが歩道となるが、完成の曉には梅田から北へ伸びた高速地下

鐵が中津附近で路面に現はれ、同橋上に珍らしいバンタグラフなしのスマー卜な車體を現はして、東淀川區南方へ向け走るわふである、この總工費は約三百九十萬圓、去る昭和十年十月市土木部の手で着工し橋臺橋脚などは間もなく完成、近く架橋工事に着手し昭和十五年三月竣工の豫定である。

大阪府の新府道の完成

大阪の心臓部から南下し農業機業の地泉州を突走る阿部郡堺線、鳳佐野線の兩路線が着工後六ケ年を経て完成した、泉南郡貝塚町橋本阪和電鐵との立體交叉の最終工事は意外に手間取つた、此路線の改良工事は完成に依つて春木町西大寺—佐野町貝田間の延長九、三一・九米幅員七メートル、工事費廿四萬餘圓を投じた大産業道路はめでたく誕生し大阪と佐野町を結ぶことが出来たが、さらに同線は佐野町から和歌山市に延びてゐる舊國道小栗街道と連結、阪和兩市を繋ぐ交通大動脈線となつた、ゆゑ沿道町村民は大よろこびだ。

大阪府下明粧の新府縣道

成る

大阪府の府縣道大阪―伊丹線工事中の大阪側の分は去る五月十七日竣工した。此路線は産業道路大阪―池田線中東淀川區十三西ノ町附近で分岐し西淀川區佃町神崎川左岸に至るもので、去る九年八月起工し、總

工費一、一六八、〇〇〇圓を費し延人員一三〇、七〇〇名を使役した、工事概要を見ると次の通である。●總延長三千三百六十五メートル、幅員二十三メートル乃至十八メートルの坦々たるアスファルト・コンクリート舗装だが北方貨物線軌道に乗越す三津屋跨線(長さ四百五十七メートル、幅十六メートル)がちよつとスマートな新機軸を見せ、池田産業道路の跨線橋と異つた緩やかな傾斜で、歩行者も自動車も荷車もみんな自由に渡れるアスファルトの大アーチ式となつておる。

兵庫縣西宮市の二里の遊歩道完成

西宮市都市計畫事業として昨年十月以來施工中であつた延長一、一九三米防潮堤は此程完成し、芦屋川、夙川の松林遊歩道が聯絡されたので阪急芦屋驛から芦屋川の松林

を下り海岸遊歩道を過ぎて夙川尻に出て夙川遊歩道を散策して夙川驛に出づる約一里の遊歩道が其の姿を顯はすこととなつた。

兵庫縣下才崎橋竣工

兵庫縣々道姫路―網干線の飾磨郡八幡村才と同郡飾磨町山崎の間を流れる夢前川に架す才崎橋は工費四八、五〇〇圓で昭和十年三月起工したが、去る四月末竣工した、五月二十三日には關係町村に於て盛大なる渡初め式が舉行された。

中國地方

鳥取縣國道加勢蛇橋開通の歡喜

鳥取縣下國道十八號線中の東伯郡逢東村地内加勢蛇橋は架橋施工中の處此程完成したので同地市民の歡喜は非常なもので五月二十日に渡橋式を舉行した。同橋は總工費三萬七千圓を投じ鐵筋コンクリート、ゲルバー式T型桁橋にて延長一四〇メートル三〇、有效幅員五メートル五〇、橋臺二基と

橋脚六基を有し、シートアスファルト舗装の見事な近代橋である。

鳥根縣の舗装道路調べ

鳥根縣では産業開發と密接不離の關係にある道路網の全面的開發整備に乗り出すこととなり基本調査第一歩として縣下における舗装道路の現状調査を行ふ結果、延長總程九千五百八十八メートル縣内全道路延長の三分の一で主なる舗装道路は松江市天神町、同驛前廣場から驛通り同雜賀町、堅町、相生町、殿町、柴町、寺町、中原町、北堀町、今市町停車場線、大社町大島居坂下神門驛間、久手温泉津線、黒川濱田港線などでこれらの舗装道路は昭和二年の松江大火の復興を皮切りに同七年から十年までの時局匡救事業によつて完成されたものである。

岡山縣惡道解消の調査

岡山縣下の道路は幅員、路面舗装など他府縣に比し著しく劣つておる「惡道岡山」の名もあるので愈々改良工事の企劃を立てんとし此程矢野總務部長は親しく實況視察

を行はれたが其の意見として傳へらるゝ所は斯うである。本縣の道路は縣の「財力」に比して他府縣に劣りいさゝか「惡道」のそしりを免れない、しかも縣北部の山間地方に比し南部地方の道路が悪いことは一見不思議なやうだが事實であり、これは道路改修工事實施の場合に南部は開けてゐるだけに北部よりも用地買収が困難で自然行惱みとなることや北部の地質が南部より良いことおよび南部は北部に比し交通量が多いため路面の損傷の度が高いなどに起因してゐると思はれる、いづれにしても道路は地方の産業開發上の大動脈でありその改修は緊要事と考へてゐる。

廣島縣下縣道の付替へ

廣島縣下の福山市も國立公園の浦とを結ぶ縣道延長一三キロを工費三十萬圓で幅員の擴張、勾配等の切取りなどを行ひ名實共に理想的な觀光道路を出現せしめんと企て已に着手したが福山鞆間の最難所である水呑、田尻間の三分坂の急勾配を避くる爲めに約二十萬圓を投じ路線の付替を行ひ幅員六・五〇米に擴張することゝなつた。

四國地方

香川縣々道改良の施工

香川縣では指定府縣道の改良工事施行の十年計畫を樹て實施の手續であつたが工費十九萬五千圓(内國庫補助六萬五千圓)で施工の認可を得たので愈々起工することゝなつた、其の施工箇所は次の通りである。

- 高松—琴平線中香川郡一宮圓座兩村に跨る橋梁成合線(工費八萬三千三百圓) ▲高松—脇町線中香川郡鷺田村地内(三萬七千圓) ▲高松—長尾線中木田郡下高岡村内(二萬九千六百圓) ▲豐濱—觀音寺線中三豐郡大野原地内(三萬五百圓) ▲雜費監督費を含めて總額十九萬五千圓

高知縣道路愛護會の表彰

高知縣道路愛護協會では優良愛護會を表彰することになり審査中のところこの程審査終了、百十六ヶ町村を決定六月十一日午前一時から縣會議事堂で協會總會を開催引續き表彰式をあげた。

高知縣下の清路奉仕

高知縣高岡郡尾川村道路愛護會では五月七日廣瀨小學校長指揮の下に男女職員青少年生徒三百餘名出動府縣道四キロに涉り除草溝深し地均し砂利敷等に努力奉仕を爲し好成績を舉げた。

高知縣足摺岬のドライブ

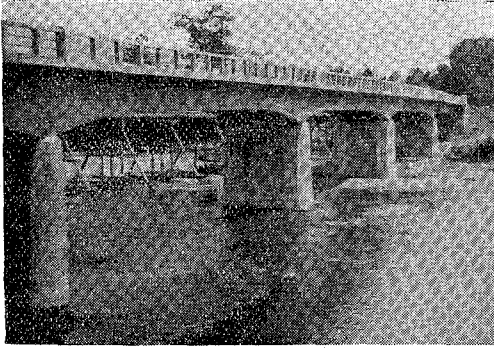
エー開通

四國最南端の絶勝地足摺岬は怒濤岩を嘯む絶大な風光を備へておるのに交通甚しく不便なる爲め觀光客稀少なるを遺憾とし幡多郡清水郡松尾から足摺岬突端伊佐に至る六五三〇米の道路を四萬圓を投じ改良を加ふることゝなり施工中の處此程完成した。なほ岬端から上灘村大谷に至る四、〇〇メートルと清水渡場附近も工費四萬圓を投じて引つゞき大改修の計畫でこれが竣工すれば足摺岬周遊道路が完成を告げ、西土佐に誇る觀光ルートとして縣外客誘引の上に重大な役割を演ずることゝなるであらう。

九州地方

熊本縣下分田橋の落成

熊本縣貳號國道分田橋—鹿本郡中富村、



地方通信

大道村—は昭和十年六月の豪雨により流失せし爲、國庫補助災害復舊工事として、鋭意工事中の所、昭和十二年三月竣功せり。依つて五月十七日盛大なる竣功式を舉行せり。本橋は菊池川の清流に架橋され、ガルベ式鐵筋コンクリート橋、全長一・二四〇米有效幅員七・〇米二徑間二七・〇米二徑間一一・五米にして菊池川改修の際延長工事を考慮施行せり。

